

# JIS

## 地質図－工学地質図に用いる記号，色，模様， 用語及び地層・岩体区分の表示とコード群

JIS A 0206 : 2013

(JGCA/AIST/PWRI)

平成 25 年 8 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本工業標準調査会標準部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	河野 広隆	京都大学
(委員)	阿部 道彦	一般社団法人日本建築学会 (工学院大学)
	綾野 克紀	公益社団法人日本コンクリート工学会 (岡山大学)
	石坂 弘司	東京都建設局
	宇治 公隆	公益社団法人土木学会 (首都大学東京)
	木幡 行宏	室蘭工業大学
	小林 延房	一般社団法人日本建設業連合会 (飛鳥建設株式会社)
	清水 和久	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (旭コンクリート工業株式会社)
	鈴木 一雄	全国生コンクリート工業組合連合会
	須田 久美子	鹿島建設株式会社
	棚野 博之	独立行政法人建築研究所
	西田 礼二郎	一般社団法人セメント協会
	真野 孝次	一般財団法人建材試験センター
	利藤 房男	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)
	渡辺 博志	独立行政法人土木研究所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 20.3.20 改正：平成 25.8.20

官 報 公 示：平成 25.8.20

原 案 作 成 者：一般社団法人全国地質調査業協会連合会

(〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-5-13 内神田 TK ビル TEL 03-3518-8873)

独立行政法人産業技術総合研究所

(〒305-8568 茨城県つくば市梅園 1-1-1 つくば中央第 2 本部情報棟 TEL 029-862-6221)

独立行政法人土木研究所

(〒305-8516 茨城県つくば市南原 1 番地 6 TEL 029-879-6400)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 河野 広隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 工学地質図に用いる記号群	3
4.1 一般的事項	3
4.2 断層，地層境界などの表示	3
4.3 風化及び変質の表示	3
4.4 岩盤分類の表示	3
4.5 物性値の表示	4
4.6 簡略柱状図の表示	4
4.7 調査位置の表示	4
5 工学地質図に用いる主題属性コード群	4
5.1 一般的事項	4
5.2 工学的地質区分名	10
5.3 地層・岩体の分布を示すために用いる模様及び色コード	11
5.4 工学的地質区分の種類を示すコード	11
5.5 地質学的属性を示すコード	17
解 説	37

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人全国地質調査業協会連合会 (JGCA)、独立行政法人産業技術総合研究所 (AIST) 及び独立行政法人土木研究所 (PWRI) から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS A 0206:2008** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 地質図—工学地質図に用いる記号，色，模様，用語 及び地層・岩体区分の表示とコード群

## Geological map—Symbols, colors, patterns, terms, geological units, and codes for engineering geological maps

### 序文

この規格は，2008年に制定され，今日に至っている。引用規格である **JIS A 0204** 及び **JIS A 0205** の改正などに対応するために改正した。

工学地質図の基図となる地質図はこれらの規格に基づいて作成されるが，工学地質図の重要な目的である工学的地質情報をこれに重ね合わせて表示する場合には，表示の意味が明確で，かつ，地質図の表示と紛れないように考案した記号群及び記述方法を用いる必要がある。また，工学的地質情報を異なる作成者，異なる利用者間で正確に伝達するためには，これを表示する記号群及び記述方法が標準化されていることが望ましい。

この規格では，工学地質図で用いる基本的地質情報並びに工学的地質情報を的確に表示するための記号，色，模様，用語，地層・岩体区分及びそれらを示すコード群を規定するものである。

なお，日本工業規格の表記では，常用漢字以外の漢字は使えないが，地質学用語では，常用漢字以外の漢字が充てられていることが多い。誤解を避けるため，この規格では，常用漢字以外の漢字が充てられている地質学用語については，例えば，“花こう岩（花崗岩）”のように，日本工業規格に従った表記の直後に括弧書きで本来の表記を示した。ただし，煩雑さを避けるため，この措置は初出の箇所だけとした。

### 1 適用範囲

この規格は，工学地質図に用いる記号群（記号，文字記号，色，模様などを含む。）及びその記述，表記及び表示法（用語を含む。），並びに主題属性を示す主題属性コード群（定義，記述，表記及び表示法を含む。）について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は，この規格に引用されることによって，この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は，その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS A 0204** 地質図—記号，色，模様，用語及び凡例表示

**JIS A 0205** ベクトル数値地質図—品質要求事項及び主題属性コード

### 3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は，**JIS A 0204** 及び **JIS A 0205** によるほか，次による。